



2020年11月13日
株式会社 阿波銀行

2021年3月期第2四半期（中間期）決算について

阿波銀行（頭取 長岡奨）は本日、2021年3月期 第2四半期（2020年4月1日～2020年9月30日）の単体および連結決算を発表しましたので、お知らせいたします。

1. 2021年3月期 第2四半期（中間期）決算概要（単体）

主要計数	2021年3月期 第2四半期（中間期）	前年同期比
貸出金残高（期末残高）	2兆 260億円	1,062億円 増加
譲渡性預金を含む総預金残高（期末残高）	3兆1,240億円	1,626億円 増加
コア業務純益	68億44百万円	1億28百万円 減益
経常利益	55億41百万円	27億56百万円 減益
中間純利益	36億71百万円	21億35百万円 減益

2. 決算ハイライト

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けられたお客さまへの対応に尽力した結果、貸出金残高（期末残高）は、徳島県内をはじめ関西、中四国および関東地区のいずれにおいても順調に推移し、前年同期比1,062億円の増加となり、中間期末において初めて2兆円を上回りました。総預金残高（期末残高）についても、個人および法人預金などが順調に推移し、同1,626億円の増加となり、初めて3兆円を上回りました。
- コア業務純益は、資金利益が前年同期とほぼ同水準ながら増益となったほか経費削減に努めたものの、営業活動の自粛等の影響から役務取引等利益が減益となり、同1億円減益の68億円となりました。
- 経常利益および中間純利益は、有価証券関係損益の減益および実質与信費用の増加などにより、それぞれ同27億円減益の55億円、同21億円減益の36億円となりました。

3. 2021年3月期の業績見通し（単体）

- 2021年3月期の業績見通しについては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う景気悪化の継続が予想されるものの、5月短信発表時との比較では、資金利益の増益および実質与信費用の減少を見込んでおり、以下の通り業績予想を上方修正いたします。

	今回予想	前回予想	比較	増減率
コア業務純益	146億円	140億円	+6億円	+4.2%
経常利益	104億円	80億円	+24億円	+30.0%
当期純利益	70億円	53億円	+17億円	+32.0%

詳しくは[決算短信](#)をご覧ください。

以上